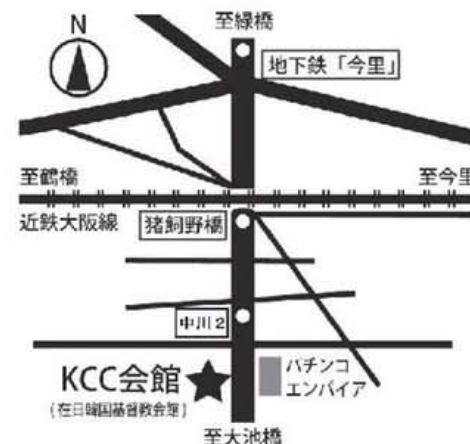


多文化共生教育の推進をめざす大阪市民の会

総会 & 多文化共生教育をめざして

7月7日(土) KCC会館

14:00～16:50 (受付 13:30～)



大阪市生野区中川西 2-6-10

第1部 <総会> 14:00～

- これまでの経過
- 子どもたちを取り巻く状況

報告 特定非営利活動法人コリアNGOセンター代表理事 郭辰雄氏
～多様な知恵を集めて～「生野地域・民族学級懇談会報告」

- 2018年度の活動方針と要望書

大阪市の小中学校には、42か国 2900人の外国につながりをもつ児童生徒が在籍しています。(2017年度調査) そんな中、小学校ではこの春より検定教科書を使った道徳が「教科」となり、また2020年より正式な「教科」として始まる「英語」に向けた外国語活動の取り組みも義務化されました。長年にわたる大阪市内での人権教育への支援や保障は時間的にも財政的にも縮小され、年々増加する新規渡日の児童生徒をはじめ、多様な子どもたちを取り巻く環境は、ますます厳しい状況が強いられています。

民族学級をはじめとするすべての子どもたちの居場所を拡げ、それぞれのちがいを認め尊重し、共に生きていく心を育む多文化共生社会をめざし、参加者がそれぞれの立場で何ができるのか主体的に考え、保護者、教職員、そして学校や地域がつながることをめざします。

第2部 <講演> 14:40～

『トルコと日本のルーツをもつ子ども親として』

～多様な人たちと共に生きる学校や地域を願って～

いわき
岩城あすかさん



箕面市立多文化交流センター 館長
大阪外国語大学でトルコ語を学んだ後、1997年～2001年イスタンブール大学(院)に留学。トルコ人の夫と中学生の娘がいる。2005年度より(公財)箕面市国際交流協会で地域の国際化を促す様々な事業に取り組むほか、重度の障害者のみで構成される劇団「態変」の発行する情報誌「イメージ」の編集にも携わっている。

<参加型学習>

今 なにができるのか
そして なにをするのか